

StoveTent Nona T/C MANUAL



株式会社 Mt.SUMI (マウントスミ)
〒601-1395 京都府宇治市炭山久田45-8
TEL:0774-34-1951 / FAX:0774-34-1952
info@mt-sumi.com
https://mt-sumi.com/



本取扱説明書をご利用前にお読み頂き、正しくご利用ください。

弊社 web サイトから説明書のダウンロードが可能
です。(右の QR コードからアクセス) ページ内の
HOW TO USE を選択していただき、取扱説明書ボタ
ンをクリックください。



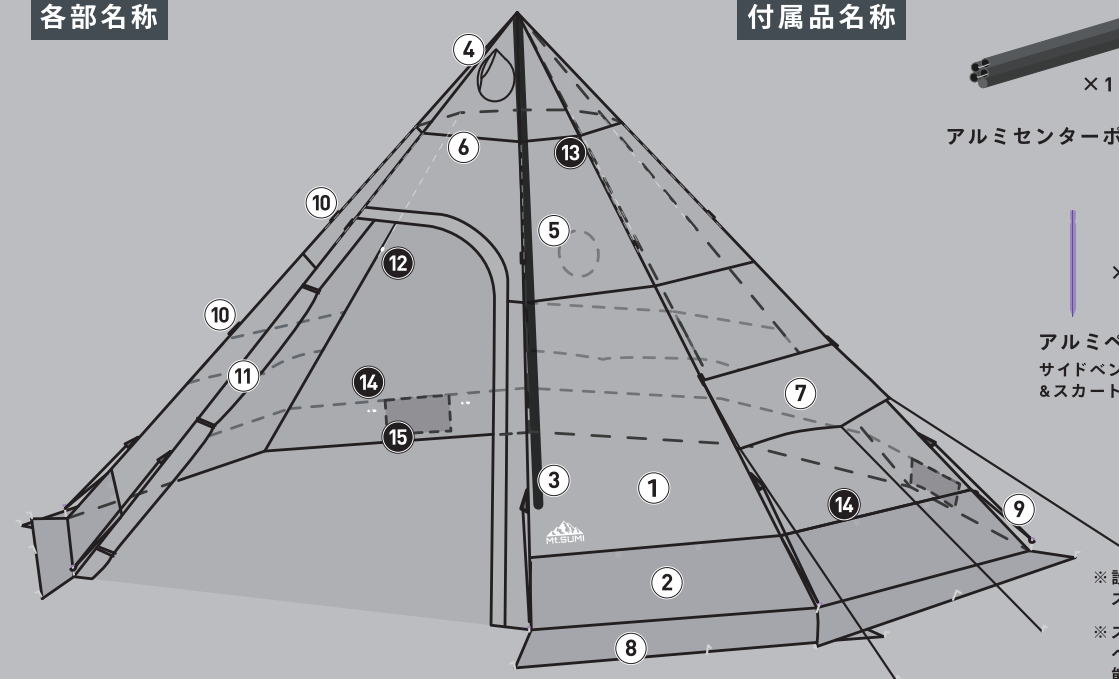
スペック

商品名: StoveTent Nona T/C / ストーブテント ノナ T/C
品番: TS2109N
サイズ: w 510 × d 500 × h 320 cm
重量: 15kg
人数: 8人

カラー: マウントスミカラー
内容: 幕、ポール、ポールスタンド、ペグ、ガイド、収納バッグ
生地: T/C 生地 (ポリエステル 65% / コットン 35%)、ポリエステル生地
ポール: アルミニウム
生産国: 中国

各部名称

付属品名称



※設営には別途ペグハンマーをご用意ください。
ステップ(脚立)は必要に応じてご利用ください。
※スチールペグ大を抜く際にプラスチック部分に
ペグハンマーなどを引っかけて抜くと破損の可
能性がございます。お気をつけください。

① T/C 生地

燃えにくい T/C 生地を採用。
配合を工夫し軽量化。撥水加工も。

② ポリエステル生地 (耐水圧3000mm)

撥水に優れたポリエステル生地を採用。

③ アルミセンターポール

高強度のアルミニウムを採用。
5分割になっており、コンパクトに収納が可能。

④ トップチムニーホール (煙突出し口) 直径200mm

センターポールの横から煙突を出す穴を標準装備。
未使用時はマジックテープで穴を閉じることが可能。

⑤ サイドチムニーホール (煙突出し口) 直径200mm

テント奥の中段にもチムニーホールを標準装備。

⑥ トップベンチレーション

テント上部から換気が可能。内側のメッシュ生地で塞ぐことも
可能なため、虫やチリの侵入を防げます。

⑦ サイドベンチレーション (4カ所)

内部の換気や、煙突の横出しにも利用が可能。
メッシュと T/C 生地の二重構造なので、虫の侵入を防げます。

⑧ スカート (9カ所)

雨や雪中キャンプから内部を守ります。

⑨ ストラップ

テントの裾の張りを2本のストラップで調整が可能。

⑩ ガイロープ

強風時にテントをより強固に固定するために使用します。

⑪ 入り口 (二重構造)

メッシュと T/C 生地の二重構造。
虫の侵入を防ぎながら換気や外の景色を楽しめます。

⑫ トップベンチレーション用ストラップ

トップベンチレーションを開閉するためのストラップ。
引き下げて開けることができるため、脚立などを使わずに開閉が可能。

⑬ リング (9カ所)

アクセサリの接続が可能。インナーテントやランタンなどの使用にも。

⑭ ボトムベンチレーション

裾のポリエステル生地部分を捲り上げることでボトム部分でも換気が可能。

⑮ メッシュポケット (2カ所)

小物を収納するのに便利です。

警告 誤った取扱いをした時に、死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。

＞使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。

キャンプ当日までに、取扱説明書通りに幕・ポール・付属品がセットされているかをご確認ください。

稀に縫製上の不備やセットミスなどにより、テントが設営できない場合があります。テントを収納する際は、ペグ、ガイロープ、ポールなどのパーツの数量をご確認ください。また、毎回のご使用前後にも点検を行ってください。

＞テントの中やテントの近いところでは炎の上がる、また火の粉が飛ぶような焚火や火気を絶対に使用しないでください。

・テントのT/C生地は難燃性ですが不燃性ではありません。生地の撥水加工は、熱に強いものでなく、また、ボトムとスカートの部分はポリエステル生地のために熱に弱く燃えやすくなっています。

・テントでの火気の使用は火災、ヤケド、一酸化中毒による酸欠の原因となります。

・テント内部の照明にはバッテリー式のランタンや懐中電灯を使用してください。

＞キャンプ場やキャンプ許可地域以外では使用しないでください。

キャンプ場以外でのキャンプは、基本的に禁止されています。また、知らない土地では、どのような危険が潜んでいるかわかりません。特に河原でのキャンプは、上流での雨やダム放水などにより、急に水位が増すこともあり危険です。

＞事故を防ぐために、定期的に換気を行ってください。

最悪の場合、酸欠により死にいたることもあります。ベンチレーションを有効に活用し、定期的に換気を行ってください。

薪ストーブを使用する際は、一酸化炭素中毒に十分注意し、各自の責任の元ご使用ください。

＞「取扱説明書」はいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上に関する重大な事項をここに示しています。製品を安全に正しくご使用頂き、危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意 誤った取扱いをした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性のある内容を示しています。

＞ポールを扱う際は、周囲に十分注意し、事故やケガなどないよう設営してください。

長いポールは、思わぬ接触で周囲の人や特に子どもの顔や目に当たったり、車などをキズつける可能性があります。

＞テントは必ず固定してください。

・強風でテントが飛ばされたり、倒壊する危険があります。テントが吹き飛ばされた際に、人や車、他のテントなどに当たり大きな損害を引き起こす可能性があります。

・ペグは必要本数きちんと打ってください。また、補強用ガイロープも状況に応じて必要数きちんと張ってください。撤収時には、使用したペグを必ず全数抜き取り、数量をご確認ください。

・テントの設営や撤収時、ペグで固定する前後で、急な突風等でテントが飛ばされることがあります。テントが飛ばされないように、十分にご注意ください。ペグを打つ前に、補強用のガイロープをあらかじめ仮止めしておく方法もあります。また、撤収時の場合、最後に補強用ガイロープを抜けば飛ばされることがありません。

＞テントを無人の状態です長時間、放置しないでください。

急な天候の変化等により、テントが倒壊したり、飛ばされたりする可能性があります。

テントを置いて避難するような状況下では、テントを倒し飛ばされないよう重りを載せるなどしてください。

＞通行する人の妨げにならないようにテントを設営してください

通行する人が、ガイロープに気づかなかったり、避けようとして、ケガの原因になることがあります。

昼夜を問わず、通行する人がわかるようガイロープに目印を付けたり、テント周辺の通路を十分に確保してください。

＞テント本体に付属のペグ、必要に応じてガイロープを使用し、テントがたるまないように設営してください。

テント生地がたるんだ状態では、風の力が余計にかかり飛ばされたり、倒壊する原因になります。

ペグは根本まで地面にしっかり打ち込み、ガイロープは強いテンション（張力）を保つようにしてください。

＞就寝時や、強風時、雨天時には入口のファスナーの開口部を閉じてください。

夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風でテントが飛ばされたり、倒壊する危険があります。

＞台風などの悪天候時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。

悪天候が予想される状況下で、キャンプを強行する事は大変危険です。避難の際にはテントを撤収し、安全な場所に避難してください。また、悪天候時、テント内は決して安全な場所ではありません。常に最新の気象情報をご確認ください。

強風や豪雨、大雪の場合には、テントをどんなにしっかり固定していても、吹き飛ばされたり、倒壊する可能性があります。

また、テントに落雷する可能性もあり危険です。

なお、キャンプ場内の避難場所を必ず事前にご確認ください。

組み立て方法



1. 直径6mほどの範囲がとれる場所を探し、テントのセンターと入り口の方向を決める



2. センターにガイドを固定する。
※ペグをロープの端にある輪っかに通す



3-1. 同梱されているガイドとロープを使用し、ペグを地面に固定していく(9カ所)
※ロープの反対の輪っかを使用しません



3-2. ペグは中心とは反対方向に少し倒すと抜けにくくなります。



4. 入り口と各ペグの位置に合わせてテントを広げる。
※ロゴが入口の向かって右面にあります



5. あらかじめストラップは緩めておく。
※ストラップを緩めないでテントを引起こすときにテンションが掛かり、起こせなくなります



6. 打ち込んだペグの頭にストラップのリングを引っ掛ける。自前のペグを使用される際には、一度ペグを抜き、リングにペグを打ち直してもOK。



7. 入り口を開ける。



8. ボール用キャップにポールを差し込む。



9. 棒を持ち上げながらテントを引き起こし、ガイドを置いていたセンターにポールを置く。ポールを立てた後にポールスタンドを地面側に被せる。[硬い地面のときはなくてもOK]

※トップチムニーホールに煙突を通すときは立ち上げる前にチムニーホールを開けておくとおくに通せます。

※トップベンチレーションのメッシュを使わない場合は立ち上げ前に収納するか、ステップ(脚立)を使用して後から収納ください。



9. テントを起こした際のストラップの状況。

組み立て方法



10. 太い方のストラップを引っ張り、テントの貼り具合を調整する。



11. グラウンドシート(別売り)を使用する際は、細い方のストラップを引っ張り、テントの貼り具合を調整する。



12. ストラップの調整後のイメージ。



13. 全体のストラップを調整したイメージ。



14-1. スカートを固定する場合は、1枚につき3カ所にペグを打つ。中心から打ちつけると綺麗に張れる。

※写真ではスチールペグを使用しておりますが、実際には付属のアルミペグ(Y字)をご使用ください。



14-2. この際もテントの中心とは反対向きにペグを倒すと抜けにくくなる。

※写真ではスチールペグを使用しておりますが、実際には付属のアルミペグ(Y字)をご使用ください。



使用方法 サイドチムニーホール



1. サイドチムニーホールに設置した際の入り口から見た位置関係。



2. サイドチムニーホールもトップチムニーホール同様にマジックテープにて口を塞いでいる。



3. 使用前にマジックテープを開ける。



4. 煙突をサイドチムニーホールへ通す瞬間のイメージ。



5. 煙突ガードやバンテージ推奨。



6. テント外から見たサイドチムニーホールに煙突を設置した使用イメージ。



7. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のテント内での薪ストーブの位置関係。



8. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のテント内での薪ストーブの位置関係。



9. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のイメージ。



10. サイドチムニーホールに煙突を設置した際の入り口との位置関係。



11. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のテント後方からのイメージ。



12. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のイメージ。

使用方法 入り口とボトムループ



1. 入り口を開放した際のイメージ。



2. 入り口をメッシュのみにした際のイメージ。



3. 入り口を閉じた際のイメージ。



4. 入り口のT/C生地面とメッシュ面を両方留めた状態。



T/C生地面とメッシュ面の間にあるフックをテント内にあるループを経由し、テント外のループに引っ掛けて留める仕様。



5. 入り口のメッシュ面のみを使用する場合、T/C生地面のみをフックで留める仕様。



6. スカート部分を留めることも可能。



7. ボトムとスカートを捲り上げ、テント内にあるフックとテント外にあるループを引っ掛けて留める仕様。



8. テント内のフック。角9ヶ所と一辺につき2カ所。

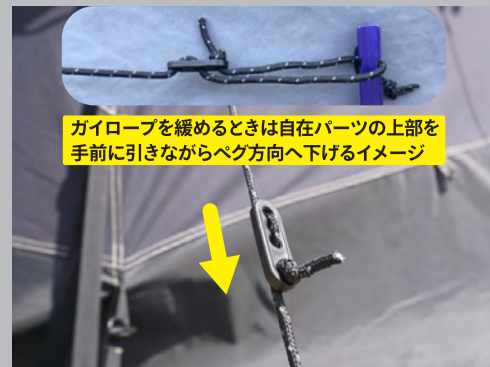
使用方法 サイドベンチレーション



1. サイドベンチレーションのガイローブをセンターからペグダウンする。



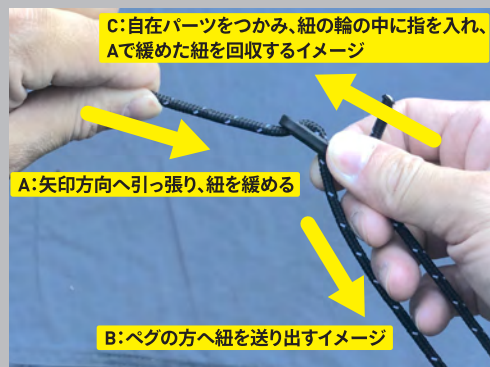
2. 次にサイドのガイローブをペグダウン。テントの中心から延長線上に伸ばすと綺麗に張りやすいです。



3. 自在(調整用のパーツ)
※ガイローブは自在の結び目裏側のループをペグに引っ掛けます。



4. ガイローブのテンションを調整する。



5. 自在(調整用のパーツ)
※自在は結び目の裏側のループをペグに引っ掛けます。



6. 完成イメージ。



7. サイドベンチレーションの内側は二重構造の窓になっています。



8. メッシュ面だけの場合。



9. 両面を開放した場合。



10. サイドベンチレーションから薪ストーブの煙突を横だしたイメージ(内側から)。



11. サイドベンチレーションから薪ストーブの煙突を横だしたイメージ(外側から)。



12. サイドベンチレーションから薪ストーブの煙突を横出した全体イメージ。

※薪ストーブを幕の近くで使用する場合は煙突ガードだけでなく、煙突ガードの外側にバンテージを巻き、幕を保護することをお勧め致します。

使用方法 トップベンチレーションとトップチムニーホール



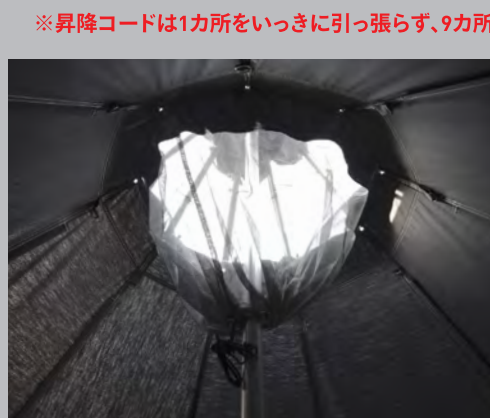
1. テント内にあるトップベンチレーションの昇降コードを引っ張った状態とめる。(9カ所)



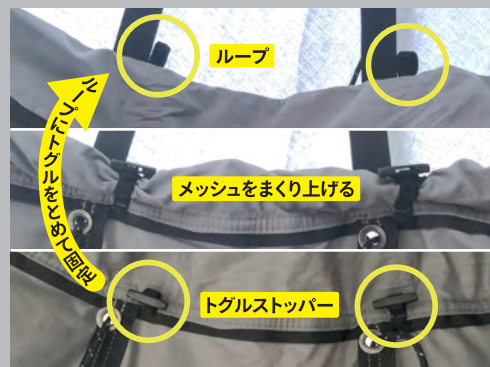
2. トップベンチレーションが閉じた状態



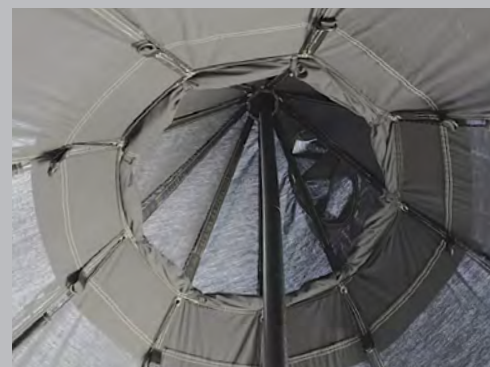
3. トップベンチレーションを開けた状態。



4. トップベンチレーションもメッシュで覆うことが可能。



5. メッシュの収納方法。メッシュをまくり上げてメッシュ上部のループに下部のトグルストッパーをとめて固定する。



6. メッシュを収納した際のイメージ。チムニーホールはマジックテープで塞がっているため、煙突を通す前に開けてください。



7. トップベンチレーション下部にはリングを設置。インナーテントやランタンなどアクセサリの接続が可能。(9カ所)



8. トップチムニーホール(煙突出し口)から煙突を出したイメージ。



9. 煙突ガード推奨。



10. テントの高さが320cmあり、トップチムニーホールも同等の高さになる。煙突も長めの設定が必要。



11. トップチムニーホールに煙突を設置した際のテント内での薪ストーブの位置関係。



12. トップチムニーホールに煙突を設置した際の全体イメージ。

片付け方法



1.ストラップを緩める(9カ所)



2.スカートのペグを外す。



3-1.センターポールを外す。



3-2.センターポールを倒す。



4.センターポールを幕から引き抜く。



5.センターポールを折り畳む。



6.入り口を閉じる。



7.ストラップをペグから外す。



8.幕の頂点にあるループをペグに引っ掛ける。



9.頂点を起点に裾を重ねるように半分に折り畳む(この時、9角形なので、角はズレます。)

入り口を正面にすると次回使用時に便利です。



10.裾側の端を中心に折り畳む



11.反対側の裾の橋も中心に向かって折り畳む

片付け方法



12.中心を揃える



13.さらに裾の端を中心に向かって折り畳む



14.さらに反対側の裾を折り畳む(この際にカバンの幅に入るように折り畳む幅を調整すると入れやすいです。)



15.裾側を頂点側へ半分に折り畳む



16.さらに半分に折り畳む



17.頂点に向かって丸めていく(幕内に入っている空気を抜くイメージで巻き上げる。)



18.頂点のループをペグから外す。



19.収納バッグへ入れる。

片付け方法



20. ベグを入れた袋やセンターポールも収納バッグへ入れる。



21. ポールがしっかり入るように調整する。



22. ファスナーを掴みながらスライダを閉じていく。



23. ファスナーを寄せながらスライダを閉じていく。



24. ファスナーを寄せきれない場合は全体を押し、中身を圧縮調整することで閉じやすくなります。



25. 最後までスライダを閉じる。



26. バックルをとめる。

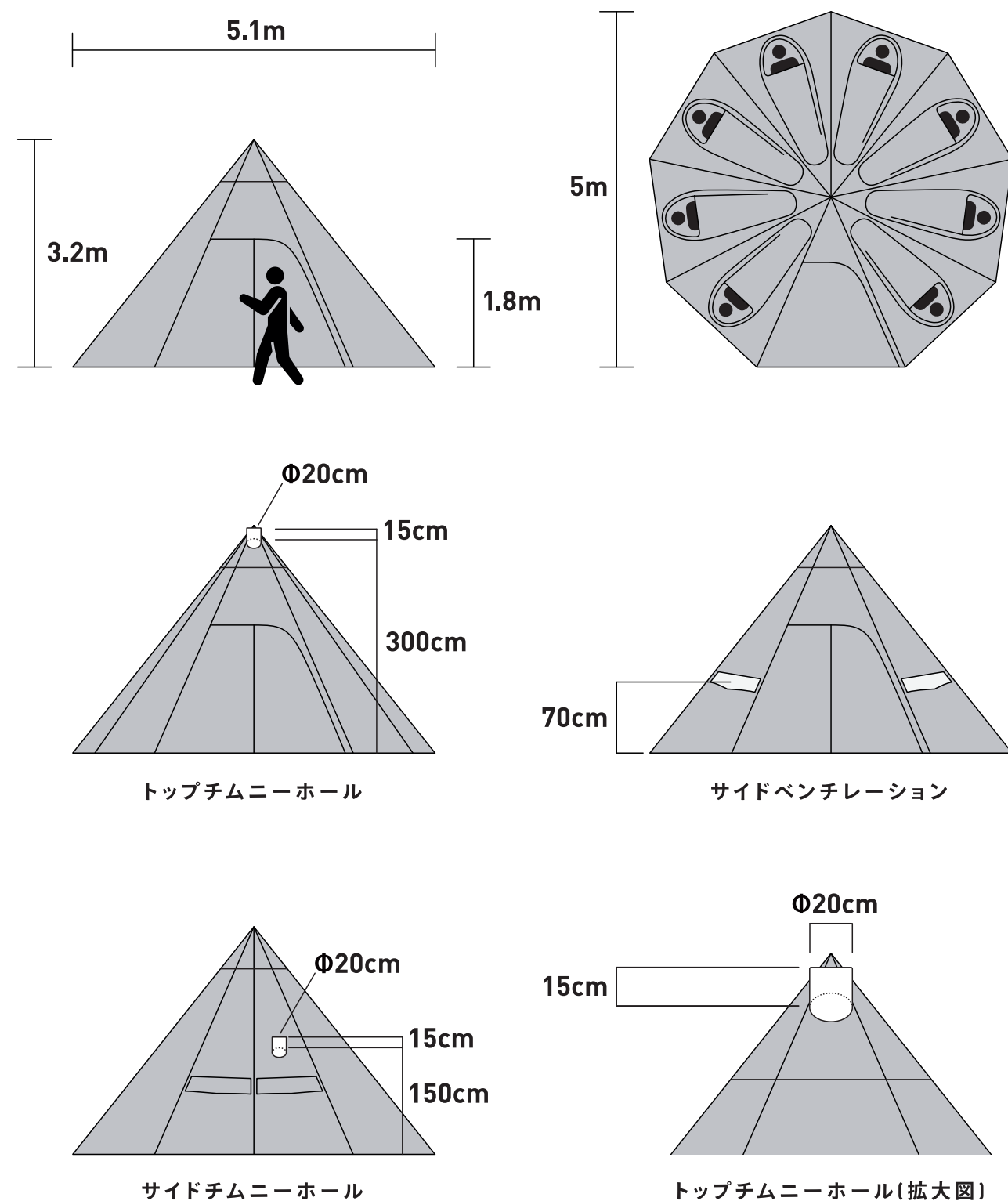


27. ストラップを引き、しっかり固定する。



28. 収納完了(画像はサンプル段階のもので、実際の色味やロゴの入り方が変更になっております。)

サイズ

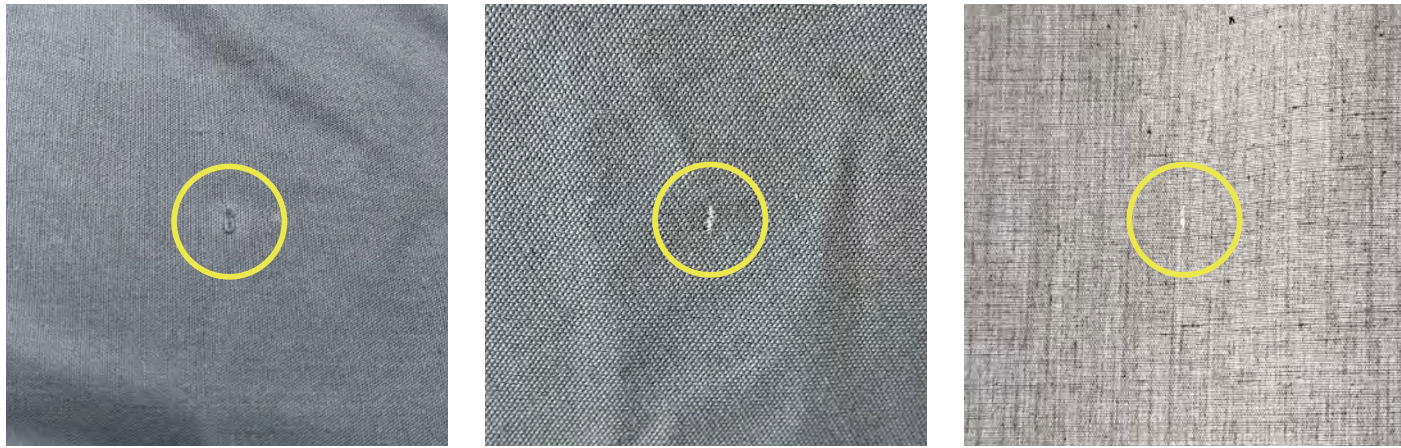


T/C生地について

外気との温度差で生じる結露が生じにくいです。重くなりがちなT/C生地を繊維の工夫をすることで軽量化。撥水加工を施し、T/C生地の欠点である乾きにくさやカビへの対策を行っています。

変色しやすい生地です。紫外線による変色が起こりやすい生地です。長期の連続使用や、紫外線の強い場所での使用は避けてください。

T/C生地は天然繊維と科学繊維の混紡繊維のため、織りムラや織りキズ、染色ムラ、節、ネップと呼ばれる糸のもつれ等が生地の特性上、やむを得ず生じてまいりますので、ご了承ください。



雨漏りについて

本製品のT/C生地は特性上、完全に防水をする事はできません。

テントに撥水加工は施しておりますが、縫い目からの雨の侵入が部分的に発生する場合がございますので、ご了承ください。より快適にご使用頂くため、液体やゲル状のシームシーリング剤のご使用を推奨いたします。(シームシーリング剤は、専門店やホームセンターなどで購入いただけます)

よくあるご質問

Q: チムニーホールの雨対策はどのようになっていますか？

A: マジックテープがついていますので使用しない際は閉じていただければ雨の侵入を防げます。

Q: 煙突の耐熱対策は必要ですか？

A: 必要です。必ず煙突ガード等をご利用になり、煙突が直接テントに触れないようにしてください。

Q: ベグに予備はありますか？

A: 3種類のベグにそれぞれ予備が2本ついております。

Q: 雨や雪対策で防水スプレーを使用することは問題ないですか？

A: T/C生地は通気性があるのが特徴です。防水スプレーではなく撥水剤をご使用ください。当店でも撥水剤を販売しております。

Q: ノナTCはどのくらいの区画サイトの広さがあれば設営可能でしょうか？

A: テントの室内での一番広い辺で、直径が5.1mです。設営の際にガイドを使ってベグの位置を決めますが、そのガイドの中心からラインでベグ打ちする半径が約2.65mなので、ベグ位置の直径は、約5.3mになります。そこから、さらに風が強い場合に使用するストームコードを打つ位置がテントから1~1.5mの位置に打つとなると、約7~8mは必要かと思えます。

保証について <保証期間:購入日より6ヵ月>

保証対象の商品について、期間内において初期不良や正常な使用状態で製品の不具合が発生した場合は、info@mt-sumi.com までご連絡ください。購入日の確認のため、レシート、納品書、購入画面のスクリーンショットなどの購入履歴の分かるもののご提示が必要です。

当社の判断で製品の修理または新品・新品部品への交換をさせていただきます。

また、以下のような場合は、保証期間内であっても保証の適用外となりますのでご了承ください。

1. 不慮の事故による製品の破損
2. 誤った使い方や粗雑な扱いによる製品の破損
3. 使用者の使用上の不注意によるもの、または使用に起因する商品の劣化
4. 手入れ及び保管場所の不備により生じた劣化や破損
5. 購入履歴のご提示がない場合

修理について

- ・修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社info@mt-sumi.comまでご連絡ください。(破損状況のお写真や、破損時の状況を出来るだけ詳しくお書き添えください)
- ・修理を依頼される場合は、濡れや汚れのない状態でお送りください。
- ・修理はお日にちがかかります。予めご了承ください。

【修理品の運賃並びに修理費用について】

1. 保証対象の場合: 往復運賃並びに修理費は弊社が負担いたします。
2. 保証対象以外の場合: 往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担をお願いいたします。(修理費は別途見積りします)

証明書

こちらに購入時のレシートや領収書を貼り付けてください。